

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	島根の「売れる米づくり」推進事業
目的	(1) 対象 農業協同組合等 (2) 意図 島根米の食味・品質のレベルアップを図り契約的取引を推進
事業概要	JAしまね農業振興重点施策に基づき、カントリーエレベーター（CE）やライスセンター（RC）等へ、食味計や1.9mm選別網目を導入する、島根米販売強化のための体制整備を支援する。 (事業実施年度 平成27～29年度)

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 1.9mm選別網目導入施設割合	目標値		36.0	40.0			施設
		取組目標値						
	式・定義 1.9mm選別網目導入施設数/JAしまね各地区本部CE・RC総数(累計)	実績値	31.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名 主食用米の契約的取引率	目標値	55.0	60.0	65.0	65.0	65.0	%
		取組目標値						
	式・定義 主食用米の播種前・収穫前・複数年契約比率	実績値	56.0					
		達成率	101.9	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	2,704	9,600
うち一般財源(千円)	2,704	9,600

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・平成27年度は、「石見銀山地区本部」、「島根おおち地区本部」をモデル地区と位置づけ推進を図った。結果的には前倒して年度内に「隠岐どうぜん地区本部」を除く全地区本部で1.9mm選別網目が導入された。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・事業を活用し、新規で1.9mm選別網目を導入した地区本部・施設
【くにびき】CE稲蔵、鹿島RC、南RC【やずぎ】利弘CE、広瀬CE、利弘RC、伯太RC
出雲：北部CE、西部CE【斐川】黒目CE【石見銀山】井田RC、大田RC、川合倉庫【島根おおち】大和RC、瑞穂RC、石見RC、川本RC、桜江RC【いわみ中央】金城RC、旭RC【西いわみ】六日市CE、匹見RC、美都RC
計 23施設
- ・既導入地区本部・施設
【雲南】仁多郡CE、雲南市CE、飯南町CE、横田RC、大東RC、赤来RC、頓原RC【隠岐】隠岐の島RC
計 8施設
- ・事業を活用し、新規で1.9mm選別網目を導入した組合等
石見銀山エコロジー米生産組合、島根おおちハープ米生産部会
- ・事業を活用し、新規で食味計を導入した地区本部
石見銀山

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
・産地間競争を勝ち抜くため、残りのJA施設、JA生産部会等へできるだけ速やかに(H29年までに)全県へ波及させる

②困っている状況が発生している「原因」
・1.9mm選別網目・食味計の導入効果が十分に説明できていない
・1.9mm選別網目の導入により、歩留まり低下を懸念する声が依然としてある

③原因を解消するための「課題」
・大粒化に向けた栽培技術の確立
・1.9mm選別や食味計(タンパク含量)を活用したトップ商品づくり
・1.9mm選別米の価格差の設定(JAしまねで導入する買取制度を含む)

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・歩留まり向上に向けた技術実証を図るとともに、1.9mm選別網目の導入効果を取りまとめ、生産者等への理解醸成を図りながら導入推進に取り組む。
・1.9mm選別網目の導入により、島根米のレベルアップ及び他産地との差別化を図り、契約的取引の拡大を推進し有利販売に取り組む。

9. 追加評価(任意記載)

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。